

日本国際連合学会第 23 回（2022 年度）研究大会プログラム

共通テーマ：「試練を迎える国連」

2022 年 2 月に生じたロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界中の人々に衝撃を与え、国際秩序に動揺をもたらした。それは、個別国家による武力行使を禁じた国連憲章への挑戦であり、安全保障理事会の常任理事国が公然と軍事侵攻を行い、国際法を無視する行動をとったことに対し、安保理の対応の限界を露呈させ、国連に対する信頼を大きく傷つける結果となった。国連は、安保理の要請により緊急特別総会を招集し、ロシアに対する非難決議を採択してウクライナへの侵略が国連憲章に違反することを明確にした。非難決議の採択にもかかわらず、現地では侵攻が続き、日々深刻化する戦況により一般市民の死傷者数が増大し、人道危機が叫ばれる事態となり、ロシア軍の戦争犯罪を追及する声も高まっている。

こうしたウクライナ情勢に対しては、NATO や EU における国際政治の視点、ロシアの国内政治や地政学的な観点など多様な視座からの議論もありうるが、本学会としては共通テーマに掲げたように国連を正面から取り上げ、現在の安保理・総会の対応に焦点を当てた研究報告や歴史的観点から国際連盟期との比較による考察、そして国連や外交実務、人道支援に関わったパネリストによる討議を通じて、国連が現在抱えている諸問題を認識し、国連および安保理改革の論点を含め、冷静な現状分析と評価を行い、今後の課題について建設的な議論を行う機会としたい。

【日時】

2022 年 6 月 11 日（土）10:00～18:00（オンライン入室可能時刻 9:30）

【会場・開催方式】

ヴァーチャルホスト校：桜美林大学・オンライン（OBIRIN 講堂）

1. 10:00～10:10 《開会挨拶／開催校挨拶》

神余 隆博（日本国際連合学会理事長、関西学院大学教授、国連・外交統括センター長）
畑山 浩昭（桜美林大学学長）

2. 10:10～11:40 《研究報告》

報告者：瀬岡 直（近畿大学准教授）

「国際連合における拒否権の本質的制約

—ウクライナ情勢におけるロシアの拒否権行使をめぐって—」

帯谷 俊輔（成蹊大学准教授）

「『危機』と国際機構

——国際連盟において想定される紛争及びその対応の変遷と揺らぎ」

討論者：山田 哲也（南山大学教授）

司会：キハラハント 愛（東京大学大学院教授）

3. 11:45～13:30 《パネルディスカッション》

モデレーター：植木 安弘（上智大学教授）

パネリスト：星野 俊也（大阪大学大学院教授、前国連代表部次席常駐代表）

「安保理・総会における議論の観点から」

長 有紀枝（立教大学教授）

「ウクライナにおける人権侵害・人道危機の観点から」

猪又 忠徳（日本国際連合学会理事）

「ウクライナ侵攻の試練と国連システムの強化

—経済・社会・環境を含む包摂的な安全保障の観点から」

神余 隆博（日本国際連合学会理事長、

関西学院大学教授、国連・外交統括センター長）

「国連を巡る多国間関係と国連改革の観点から」

13:30～15:00 昼休み 企画・渉外・編集・広報委員会の開催（オンライン）

4. 15:00～16:00 《特別講演》

特別講演者：中満 泉（国連事務次長・軍縮担当上級代表）

「ウクライナにおける現在の危機に対する国連の対応」

司会：神余 隆博

5. 16:05～17:15 《若手独立報告》

報告者：萩原 優理奈（東京外国語大学大学院博士後期課程）

「ラバト行動計画と国連戦略・行動計画

—ヘイトスピーチ規制の国際的基準—」

高橋 麻奈（神田外語大学専任講師）

「国際的なパートナーシップ構築過程における国際連合の役割

—UN Women による国際的連帯運動 HeForShe を事例として—」

司会：佐俣 紀仁（武蔵野大学准教授）

6. 17:20～18:00 総会

7. 18:10～19:00 懇親会

※SpatialChat<<https://spatial.chat/>>というツールの利用を予定しています。所定の URL をクリックし、氏名・所属等を入力するだけで参加でき、アプリのインストールを行うことなくオンライン上で臨場感のある会話を楽しめます。参加方法・操作方法等の詳細は、OBIRIN 講堂内に後日掲載する説明文書をご覧ください。参加費無料で事前登録も不要です。

【オンライン参加方法】

1. 研究大会のオンライン参加の URL とパスワード

○日本国際連合学会第 23 回（2022 年度）研究大会（OBIRIN 講堂）

<https://elearning.obirin.ac.jp/course/view.php?id=27901>

Password : 5 月に会員宛てに郵送したプログラムを参照してください。

URL は学会ウェブサイトにも掲載し 1 週間前をめぐりにメーリングリストでも送信します。（OBIRIN 講堂内の Main Hall などの表示は大会当日に表示されます。）

○研究大会の視聴は Main Hall から Zoom を用いた視聴になります。時間になりましたら、OBIRIN 講堂内の Main Hall にアクセスをしてください。参加者の氏名が Zoom 画面上に表示されますので、予めご承知おきください。

2. 質疑応答の場面を除いて、通常のミーティング時はビデオ（カメラ）とマイクは OFF にしておいてください。質疑応答は、次のいずれかの方法を視聴環境に合わせて選択してください。（1）挙手機能を使って挙手し、セッションの司会者が指名してからカメラとマイクを ON にして発言する。（2）チャット機能を利用し、参加者全員に質問内容がわかるように文章で投稿する。時間の関係ですべての質問への応答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

3. 本年度の研究大会はリアルタイムでは会員のみ公開されますので、上記パスワードの管理にご留意ください。

【配付資料提供方法】

1. OBIRIN 講堂内に登壇者の配布資料を掲載しますので、各自でダウンロードしてください。資料の差し替えがある場合には、更新日を明記しますのでご確認ください。
2. 最新の大会プログラム、総会資料も同じく掲載しますので、各自でダウンロードしてください。

【各種委員会開催について】

○以下の Room に時間になりましたらお入りください。（こちらの Room は当日表示されます。）

事務局	Room A
企画委員会	Room B
編集委員会	Room C
広報委員会	Room D
渉外委員会	Room E